

年頭挨拶

さんえすクラブ会長 (株)浜食 中村 秀一郎

新年明けましておめでとうございます。

さんえすクラブ会員会社の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。

昨年は夏の干ばつ、度重なる大型台風の襲来など、大きな自然災害でご苦労された会員生産者もいらっしまったかと思えます。また伊豆大島においては大雨による甚大な被害に巻き込まれるなど、自然の脅威を感じました。これも温暖化現象の一環なのかと、今後が不安でなりません。

しかし悪い事ばかりではありませんでした。2020年のオリンピックが東京に決定し、富士山の世界遺産登録やユネスコの無形文化遺産に和食が登録されるなど、日本人にとっては追い風が吹き始めた予感がします。

午年は上昇していたものが下降に、またその逆もある変動の年とされていますので、私としては後者の年であろうと前向きに考えております。

さんえすクラブと致しましても昨年からはまった福祉クラブとの交流会やキャンペーン等、新しく始まった事をさらに伸ばして行く年であり、生活クラブとの交流会も更に成熟させる年になるのではないかと期待しております。

本年が昨年以上の良い年を迎えられます様、会員会社同士の絆を大切に、それぞれが培ってきた技術やノウハウを融合して、新しい消費材の開発や新しい活動ができます事を心から期待しております。

最後に、さんえすクラブ会員会社の皆様、そして日本国にとって本年が新たな繁栄への第一歩を踏み出す年となる事を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



第27回さんえすクラブ定期総会を開催しました

2013年9月20日(金)オルタナティブ生活館にて、第27回さんえすクラブ総会が開催されました。2012年度の事業活動報告、会計・監査報告と、2013年度の事業計画、予算の提案、新役員の選出が行われ、会員の皆様のご理解を頂き議決されました。2012年度の活動としては、さんえすまつりの開催、生活クラブ・福祉クラブとの連携強化の活動、研修会開催等が報告されました。その中で、生活クラブ韓国・バルン生協への訪問研修への参加、福祉クラブでのさんえす交流会開催、懇親企画としてバーベキューと畑見学を行った事、復興支援まつりへ実行委員会への参加等の報告もありました。2013年度の活動方針では、大勢の参加によるさんえすまつりの開催、定期協議会開催やさんえすキャンペーンへの参加、HPの活用等による生活クラブとの連携強化、さんえす交流会の開催等による福祉クラブとの連携強化、研修会開催、復興支援まつりへの参加、懇親企画開催、生活クラブの事務局長、センター長と交流をする場を持つ事などが承認されました。

第27回定期総会にて承認された下記の役員・事務局体制をもって今年度活動計画を遂行します。

■役員

会長 中村秀一郎 (株)浜食 副会長 山崎雅史 (株)ニッコー 事務局長 小林利明 共生食品(株)
 常任幹事 今井正樹 (株)豆彦 監査役 望月裕祐 英君酒造(株)

■事務局

佐藤丙午：(有)ライフ・アート 大貫正人：(株)エコ・グリーン 交流企画部会リーダー 川口 圭：(有)カワグチ企画
 情報部会リーダー 山田恵介：(株)佐藤印刷所 宮下正一：(株)カジノヤ

第3回 さんえすまつり

～プレゼン交流会～

生活クラブ・福祉クラブの2014年度活動において、「さんえす交流会」を積極的に活用してもらう為の、生産者による大プレゼン大会である「さんえすまつり」が、さんえすクラブ主催によって行われました。今年度で3回目となる「さんえすまつり」、今回もおおぜいの参加による大盛況の中、昨年度までの経験と組合員・生産者の意見を活かして、より有意義なものとなりました。

生活クラブ生協副理事長 藤田ほのみ

さんえすまつりも3回目の開催となり、運営も進行もとてもスムーズでとても良かったと思います。食べ物生産者はもちろんですが、生活雑貨や健康食品、印刷関連の生産者のブースも工夫され、参加者からはとても好評でした。各ブースで組合員が熱心に話を聞いたり、質問したりしている様子が見受けられ、たくさんの方の交流会の開催に必ずつながると確信しました。今回参加できなかった生産者の皆さんとも、次年度のさんえすまつりでお会いできることを楽しみにしています。

福祉クラブ副理事長 荒川啓子

第3回さんえすまつりに参加しました。

福祉クラブでは1～3月にさんえすキャンペーンを計画しており、今年は福祉サービスや施設を利用する組合員へ共同購入（消費材）利用を提案していくことをテーマにして、センターごとに生産者交流会の企画を中心に3ヶ月間の活動を組み立てています。今回の交流会の組み立ての参考にしたい、希望や質問を直接話したいと参加させていただきました。プレゼンテーションや皆さんとできた具体的な話を活かして、より良い活動にしていきたいと思っています。

Aグループ4社 レポート／(株)エコ・グリーン 大貫正人

共生食品(株)

- ・ 作ることへのこだわり
- ・ 消泡剤は使わないなど
- ・ 木綿・絹の違い
- ・ 手作り豆腐講習会なども出来る（出来立て食べれる）

(株)泰山食品商行

- ・ 辛子明太子（スケソウダラの卵）の話
- ・ 添加物の話（市販のは危ないなど）
- ・ きちんと味を染み込ませてる
- ・ 質問が多かった

(株)エコ・グリーン

- ・ すいとん粉の紹介
- ・ アーダブレン化粧品2シリーズの違いについて
- ・ 化粧水やホホバオイルの付け方を説明&体験
- ・ パウダーファンデーション用熊野筆の説明

(株)佐藤印刷所

- ・ 印刷入稿時のワンポイントアドバイス（ナルほどよくナル出張版）



Bグループ4社 レポート／(株)しむら 国田由佳利

短いプレゼン時間ながら、交流会でのメニューやミニ交流会など盛り沢山の内容でアピールしました。

浜食は材を使ったなるほどメニューの紹介、ニッコーはプロジェクターを使い工場のライブ放映、アグリサポートシステムは作り手のこだわり、しむらは組合員ペアでのハンドマッサージの実技を行いました。各生産者の交流会内容がイメージしやすかったのではないのでしょうか。



組合員と生産者の意見をもとにさらにブラッシュアップ!

- 開催日時：2013年12月11日(火) 10時～13時
- 開催場所：生活クラブ オルタナティブ生活館
- 参加人数：生産者14団体22名
組合員87名
職員4名

開催チャート	10:00～10:30	集合・全体会
	10:35～11:35	分散会 4グループに分かれ生産者による約10分間プレゼン、ミニ交流会の実施
	11:40～12:10	個別ブースに分かれての交流・試食会
	12:10～	生産者と組合員による個別相談会

Cグループ3社 レポート/㈱豆彦 今井正樹

我々のグループは、豆彦、ライフアート、オルタフーズの順番で分散会を行いました。豆彦、ライフアートは「交流企画のプレゼン」、オルタフーズはミニ交流会でしたが、どの生産者とも昨年以上の出来栄で参加された組合員の方からも質問が多く出でございました。進行もスムーズに行われ、昨年のような時間を持て余した感じは無く、少しゆとりを持ったちょうど良い時間配分でした。本年も多くの組合員の方々から交流会の依頼をお受け出来る手ごたえを感じる分散会になったと思います。



Dグループ3社 レポート/㈱カジノヤ 宮下正一

Dグループは、カワグチ企画、ウェルライフ、カジノヤの順でプレゼンを行いました。

3生産者のグループで時間に比較的余裕があったため、川口さんへ当初の予定時間より長めに話して頂けないかとお願ひしたところ、「僕が話す2時間でも3時間でも話せますよ。」と仰ったので、本当かなとは思いましたが、本当でした。川口さんは過去の豊富な交流会経験に裏打ちされた、非常に説得力のあるプレゼンをされていたので、Dグループの時間配分に気を配らなければならない私もおもわず話に聞き入ってしまいました。ウェルライフの石川さんも落ち着いて、分かりやすい話をされました。釣られて私も過去2回よりうまくプレゼンができた気がします。



参加して頂いた組合員の方より

- 前回参加したとき(昨年)はたくさんの生産者が入れ替わりでせわしない感じでしたが、今回は3生産者のお話をじっくり聞けました。とびはねとまなびやでは、長く疑問に思っていたことが、直接生産者の方に聞いて、スッキリしたということがありました。さんえす交流会(まつり)は大変有意義だと思います。
- 今まで知らなかった消費材や生産者の方を知る機会としてはとても良いと思います。生産者の方から具体的な提案があると交流会をイメージしやすいです。参加型交流会、お話をコンパクトにしたものなどが多くと参加者が多く、伝える機会になると思います。
- プレゼンの色がはっきりと出ていて理解しやすかった。本日の参加企業のちらし、パンフレットを全部初めに配布して欲しい。班別に分かれるのは良いが、せめて全企業の資料が欲しかった。(試食の際には全て回りきれないことがあるので)ご準備ありがとうございました。
- 試作品を試食できたりで、組合員と生産者と一緒に消費材をつくっていくということが実感できて良い企画だなあと感じました。これからも、個食がどんどん求められるようになると思います。可能な限り、“手抜きができる一品”をたくさん開発してほしいと思いました。
- さんえすまつり初めて参加させていただきました。ありがとうございます。一度にたくさんの生産者に会えて良かったです。自分のコモンズに帰って今回の話、交流会の相談したいと思います。お疲れ様でした。

交流企画部会リーダー 川口 圭 …… 昨年に比べ参加者数は減少したものの組合員もより意欲的に参加していたと感じました。副題に～プレゼン交流会～が加わり、これまで行なわれた2回のおさんえすまつりの中から組合員と生産者から寄せられた多数の意見をもとによりブラッシュアップされた交流会になりました。組合員側にもプレゼンテーションということが各地域生協・福祉クラブ共にしっかりと認知され生産者も交流会をより良く行なうためのプレゼン交流会となったのではないのでしょうか。フィードバックシートをまとめ報告しますのでご参考になさってください。また参加されなかった生産者も非常に有意義な企画となっておりますので次回の参加をお願いします。基本は全員参加ですので♪

役員会報告

さんえす事務局長 小林 利明 共生食品(株)

第27回さんえすクラブ定期総会に於いては、任期2年となる新役員が決まりました。この役員と事務局の体制をもって、2013年度活動方針に基づいた活動を行います。これらの活動は、基本的に毎月1回開催する、役員・事務局会議での討議を経て進めています。また、不定期ではありますが、交流企画部会と情報部会の会議を開催して、具体的な活動を進める話し合いをもっています。さんえすクラブ会員の皆さんは、所属する部会（総会議案書記載の名簿にてご確認ください）への積極的な参加をお願い致します。

情報部会報告

情報部会 **山田 恵介**
(株)佐藤印刷所

新年明けましておめでとうございます。今年度は特に、さんえす交流会や消費材アピールなどの情報を、ホームページを活用して積極的に発信して行きたいと考えています。生活クラブ・福祉クラブと連携して、供給高をアップするなど、皆が元気になる活動をしたいと思いますので、ご協力お願いします。

交流企画部会報告

交流企画部会 **川口 圭**
(有)カワグチ企画

3回目のさんえすまつりも無事に終了でしたが、全員参加という目標は達成されておりません。より魅力ある企画になり皆が参加したくなるよう、これまで行なわれたさんえすまつりや交流会を今後、今年度の総会に向けて総括していきたいと思っています。さんえすまつりを受けて交流会の依頼が『沢山』あると思いますがよろしくお願いします☆

●さんえすキャンペーン報告

生活クラブコモンズ

第40週～第42週配達で値引き取組を行いました。キャンペーン品の供給高1350万円（前年比94.9%）。

生活クラブデポ

9月3日～7日に全デポで行われ10会員が参加。

- 期間中のデポー供給高1125万円（前年比106.3%）。
- **福祉クラブ**
- 3月18日～22日配達で新規品・特別取組品等の供給を行いました。14会員が35品目を供給。
- 期間中のさんえすクラブ会員の供給高前年比100.1%
- 取組人数100.4%。

7000人が来場！東日本大震災・復興支援まつり

2013年11月9日（土）ヨコハマ山下公園で、東日本大震災・復興支援まつりが開催されました。「復興支援」「脱原発」をテーマにしたこのまつり、生活クラブ運動グループをはじめ、東北からの団体、韓国バルンドゥレ生協等が参加し、108ブースの出店とステージイベントを行い、7000人もの方々が来場して大盛況となりました。さんえすクラブは、まつりを主催する実行委員会の構成団体として関わり、小林事務局長が実行委員会に参加し10会員がカンパにより協賛して、10会員が当日出店しました。このまつりは14年度も開催され、さんえすクラブも今回同様に参加する予定です。



❑ 2013年12月末現在 ❑

1. 生活クラブ組合員人数報告 (12月末)

班・戸配	46,051人
デポ	22,217人
計	68,268人

2. 生活クラブ供給報告(4～12月累計)()内前年比

班・戸配	112億2,813万円(93.5%)
デポ	35億285万円(111.4%)
計	147億3,098万円(97.2%)
世帯当たり利用金額	
班・戸配	27,308円

デポ 17,627円

3. 福祉クラブ報告

組合員人数	16,156人 (12月末)
供給高 (4～12月累計)	18億9,735万円 (前年比 99.6%)
一人当たり利用金額	13,108円